

福知山地本より

当面する方針を決定 第35回地本委員会開催

福知山地方本部は、2月14日(土)に市民交流プラザふくちやまにおいて、「第35回地本委員会」を開催し、執行部、地本委員、来賓、傍聴者を含めて約60名が結集した。議長には笠波委員が選出され、冒頭、尾崎執行委員長の挨拶からはじまり、来賓の梶原京都府議会議員と中央本部川原副執行委員長より挨拶を賜り、主な取り組みの経過、当面する活動方針、委員会宣言案を確認した。



尾崎委員長

なお、委員会の質疑応答は、後日掲載します。

尾崎執行委員長挨拶

第35回地本委員会の開催にあたり、出席者や来賓、準備に尽力した関係者へ謝意を表明し、組合員の日々の安全・安定輸送への努力、とりわけ大寒波における昼夜を問わぬ対応と、無事故で乗り越えていただいたことに改めて敬意と感謝を致します。

○安全

2005年の福知山線列車事故、2006年の伯備線触車事故を教訓に、労使で安全最優先の取り組みを推進し、安全意識は向上している。一方で事故を知らない組合員や心理的安全性

に課題も残る。不安全な事象では、1月にこの号の号にて眼鏡をかけずに運転する事象が発生させた。この事象については、反省すべきではあるものの、発覚したきっかけは詰所に忘れられた「眼鏡」を仲間の組合員が発見し、当直に伝えることで速やかな対応が出来たと聞いている。この声を上げた組合員がいたからこそ、大事に至らずに「全員で安全を守る」実践であると考えています。改めてABC運動と安全お守り手帳を全職場に徹底し、事故を風化させず安全文化を築く決意を固め、全組合員の取り組みをお願いします。

○2026春闘
賃金実態調査は約95%を集約し、ベアや年間臨給、エリア手当改善の効果分析に活用できた。会社は過去最高収益を上げる一方、物価高で費用も増大しているが黒字であり、公正な成果配分を求める。春闘ではベア16,000円・年間臨給5.7箇所を柱に交渉が本格化。中央闘争委員会を支援、全組合員で要求実現を目指す。

○業務課題

総合運輸所では福知山総合運輸所の検証を踏まえ、宝塚・学研総合運輸所の新設に伴い篠山口列車区内勤を集約した。また、輸送改善や管理職統括化を協議し、近畿協議会等と連携して課題に対応する。獣害対策はハバネロ散布で一定の効果が出る一方、熊対応や夜間巡回時の安全確保、自治体連携など命に関わる課題解決に向けた検討が必要である。働く環境では施設職場のカスハラ被害や時間外未申告問題の是正を求め、適正な労務管理を徹底。篠山口駅体制見直しも議論する。

○組織

福知山地本の組織率は約99%だが、先人や役員、組合員の努力の成果であり当然ではない。真に良い労組は全員の参画で築くもので、分

会活動や声掛け、共済活動が重要。女性や青女の育成も進め、年齢等を問わず全員が主役となる組織をめざす。職場風土や人間関係を高め、「出会えてよかった」と思える地本づくりを進める。

○政策と政治

第51回衆院選は突然の解散で始まり、応援議員が大減となった。今後の国会論議が生活へ与える影響に注視が必要。北陸新幹線延伸では山陰線・舞鶴線の3セク化懸念など地域への影響も想定される。ローカル線維持や持続可能な公共交通の提言は働く環境改善にも直結する。政治・政策への関心を高め、自治体訪問等で実現をめざす。



ろうきんからのお知らせ



他行住宅ローンの借換えもOK!
シミュレーションでイメージしてみませんか?
金利上昇が不安
返済額の負担を軽減したい

伝言板

ソフトバレーボール大会
日時 3月20日(金)13時30分
場所 三段池公園サテライト

第2回支部・分会・部会
代表者会議
日時 4月3日(金)15時30分
場所 地本会議室

